

## 返子市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進会議の意見等

### 基本目標 1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

概ね良好に取り組まれていると考える。

なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

- ・合計特殊出生率は微増しているものの、出生数は減少している。このことに留意し、出生数の増加につながるよう取り組みを進められたい。

### 基本目標 2 返子市への新しいひとの流れをつくる

概ね良好に取り組まれていると考える。

なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

- ・子育てポータルサイトのアクセス数の伸びが顕著である。ユーザーの地域属性等について分析することにより、子育て世代の転入促進につなげられたい。
- ・世田谷区、大田区といった東京都特別区の神奈川県に隣接しているエリアからの転入者が多いことから、これらのエリアへ重点的にプロモーションをするなど、積極的なアプローチを仕掛けるべきである。
- ・市外在住者向けのイベントの開催に当たっては、電車広告等を活用するなど、民間と連携することにより、さらなる交流人口の増加が見込まれる。産官学勤労言で連携した取り組みを推進されたい。

### 基本目標 3 返子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる

基本的方向 1「具体的施策①快適な通勤環境の支援」について、市の取り組み状況のみをもって「目標年次までには達成できない見込みである」と評価しているが、地方創生は民間も含め推進していくことが肝要であり、民間の取り組みを踏まえて評価、検証すべきと、昨年度意見している。従って、今年度についても、基本的方向 1 は、「達成できる見込みである」とすることが妥当である。基本目標 3 全体としては、概ね良好に取り組まれていると考える。

なお、事業の推進に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

- ・金融機関、商工会等と連携した事業承継の支援について、未実施となっているが、既に金融機関、商工会、神奈川県の連携により取り組みが進んでいる。相談窓口を設置する等、行政も連携した取り組みが可能と考える。

### 基本目標 4 魅力的で、誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりを推進する

概ね良好に取り組まれていると考える。

## 評価方法について

評価方法に関して、次のとおり意見があったので、参考とされたい。

- ・単年度において、すでに2019年度の目標を達成している具体的施策が見られる。施策ごとの進捗状況をより正確に検証するため、現行3区分による評価区分の見直しについて、検討の余地があるとする。

(参考)

## 逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標）の進捗状況表

### 基本目標 1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標		合計特殊出生率が1.41になっている。					
2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	目標
1.34	1.28	1.32	1.40				1.41
基本的方向		具体的施策				自己評価<再掲>	
【基本的方向 1】 若い世代が結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境づくりを進める		①結婚から妊娠、出産に向けた支援				目標年次までに達成できる見込みである	
		②子育てを支える取組みの推進				目標年次までに達成できる見込みである	
		③子育てを楽しめる環境づくりの推進				目標年次までに達成できる見込みである	
		④支援を必要とする子どもへの取組みの推進				目標年次までに達成できる見込みである	
【基本的方向 2】 子どもたちが学びやすい環境整備をさらに進め、子どもたちの生きる力をより一層高める教育を実践する		①学校教育の充実				目標年次までに達成できる見込みである	
		②支援を必要とする児童・生徒への取組みの推進				目標年次までに達成できる見込みである	
		③子どもの社会教育環境の充実				目標年次までに達成できる見込みである	
【基本的方向 3】 男女が共に働きながら子育てしやすい環境を整えるなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組みを進める		①ワーク・ライフ・バランスの実現に寄与する取組みの推進				目標年次までに達成できる見込みである	
		②働きながら子育てしやすい環境の整備				目標年次までに達成できる見込みである	

## 基本目標 2 逗子市への新しいひとの流れをつくる

数値目標	5年間の転入超過数が累計で1,000人になっている。					
2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	目標
184	239	362(累計601)	49(累計650)			1,000
基本的方向	具体的施策				自己評価<再掲>	
【基本的方向1】 逗子市での居住を潜在的に希望している層を、逗子市への移住に確実に結びつけ、逗子市への定住を促進する	①移住・定住施策の推進				目標年次までに達成できる見込みである	
【基本的方向2】 「また訪れたい」「いつか訪れたい」から「いつかは住んでみたい」という気持ちになるようなシティプロモーションを推進する。	①シティプロモーションの推進				目標年次までに達成できる見込みである	
	②交流人口の増加に寄与する取組みの充実				目標年次までに達成できる見込みである	

### 基本目標 3 逗子市に暮らしながら「しごと」の希望をかなえる

数値目標	個人市民税納税義務者数が28,000人になっている。 ※均等割のみの者を除く。					
2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	目標
27,568	27,438	27,858	27,987			28,000
基本的方向	具体的施策				自己評価<再掲>	
【基本的方向1】 東京・横浜への通勤圏に位置する住宅都市として発展してきた逗子市の性格を踏まえ、逗子市に暮らしながら快適に「しごと」が行えるよう環境整備を進める	①快適な通勤環境の支援				目標年次までには達成できない見込みである	
	②漁業の活性化への支援				目標年次までには達成できない見込みである	
【基本的方向2】 商工業や漁業など逗子市の地域産業の活性化を図る	①商工業の活性化への支援				目標年次までに達成できる見込みである	
	③その他地域産業の活性化に資する事業の推進				目標年次までに達成できる見込みである	
	②新たなビジネス等の創出への支援				目標年次までに達成できる見込みである	
【基本的方向3】 ダイバーシティ(多様性)を受け入れながら、若者、女性、高齢者、障がい者などあらゆる立場の人が活躍できるよう、就労支援や新たな「しごと」の場などの創出を目指す	①多様な働き手、柔軟な働き方への支援				目標年次までに達成できる見込みである	
	②新たなビジネス等の創出への支援				目標年次までに達成できる見込みである	

**基本目標 4 魅力的で、誰もがいつまでも安心して健康に暮らせるまちづくりを推進する**

数値目標	市外転出者アンケートで、「事情が許せば返子に戻ってきたい」とする人の割合が75パーセントになっている。					
2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	目標
—	64.6	77	78.4			75
基本的方向	具体的施策					自己評価<再掲>
<b>【基本的方向 1】</b> 市民の誰もが返子市に住んでいることを誇りに思い、「いつまでも住み続けたい」と思えるような、魅力的な地域づくりを進める	①シビック、プライドの醸成につながる取組みの推進					目標年次までに達成できる見込みである
	②魅力的な活動あふれるまちづくりの推進					目標年次までに達成できる見込みである
	③自然を生かしたまちづくりの推進					目標年次までに達成できる見込みである
	④快適なまちづくりの推進					達成した
	⑤持続可能なまちづくりの推進					目標年次までに達成できる見込みである
<b>【基本的方向 2】</b> 市民同士のつながりを深め、安全安心のまちづくりを進める	①市民同士をつなぐ事業の推進					目標年次までには達成できない見込みである
	②安心して暮らせるまちづくりの推進					目標年次までに達成できる見込みである
<b>【基本的方向 3】</b> 誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせるような環境づくりを進める	①健康長寿のまちづくりの推進					目標年次までに達成できる見込みである